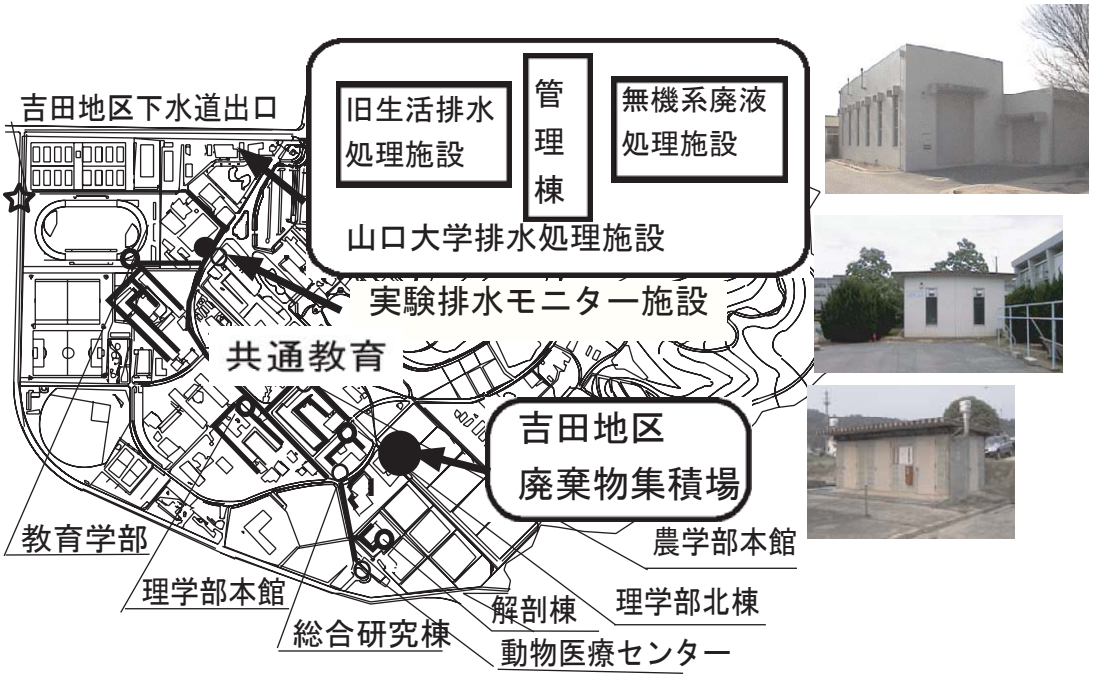
山口大学 大学研究推進機構 総合科学実験センター
排水処理施設概要（2017）

Center for Waste Water Treatment, Science Recearch Center,
University Services and Research Centers Yamaguchi University

〒753-8511 山口市吉田 1677-1 Tel 083-933-5137 Fax 083-933-5138
http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/index_j.html; E-mail haisui@yamaguchi-u.ac.jp



吉田キャンパス

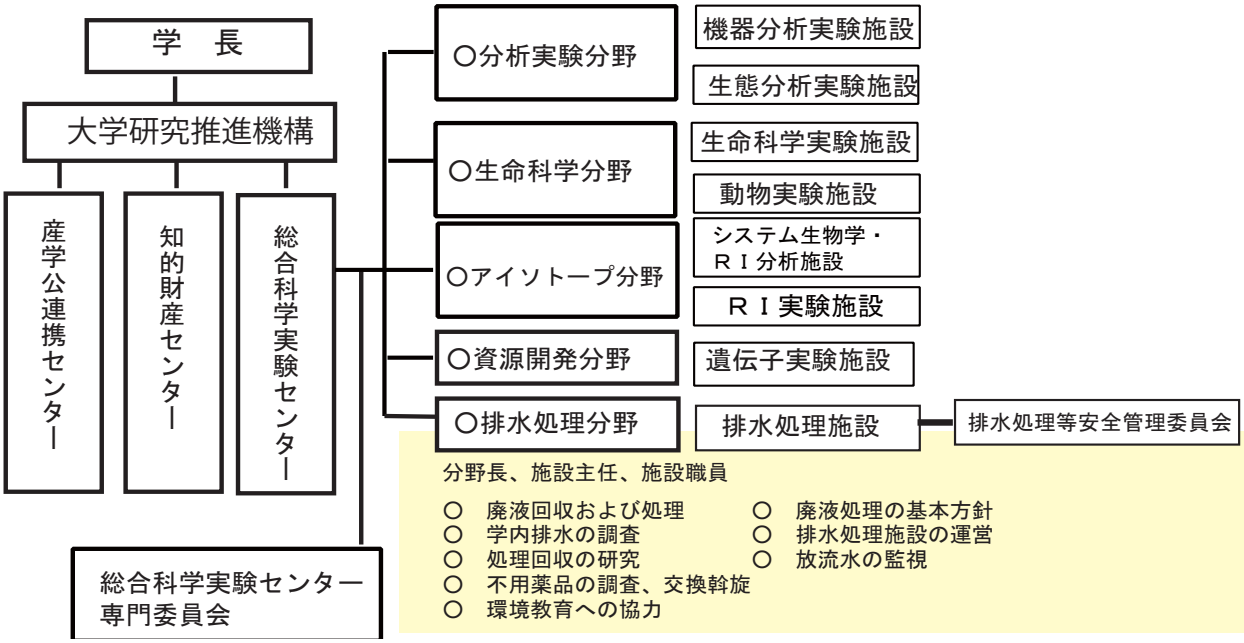
設立の目的

排水処理センターは本学の教育，研究，医療活動に伴い発生する排水に基づく汚染を防止して，教職員，学生および周辺地域住民の生活環境の保全を図るとともに，排水処理方法に関する基礎教育に協力するために設置された.

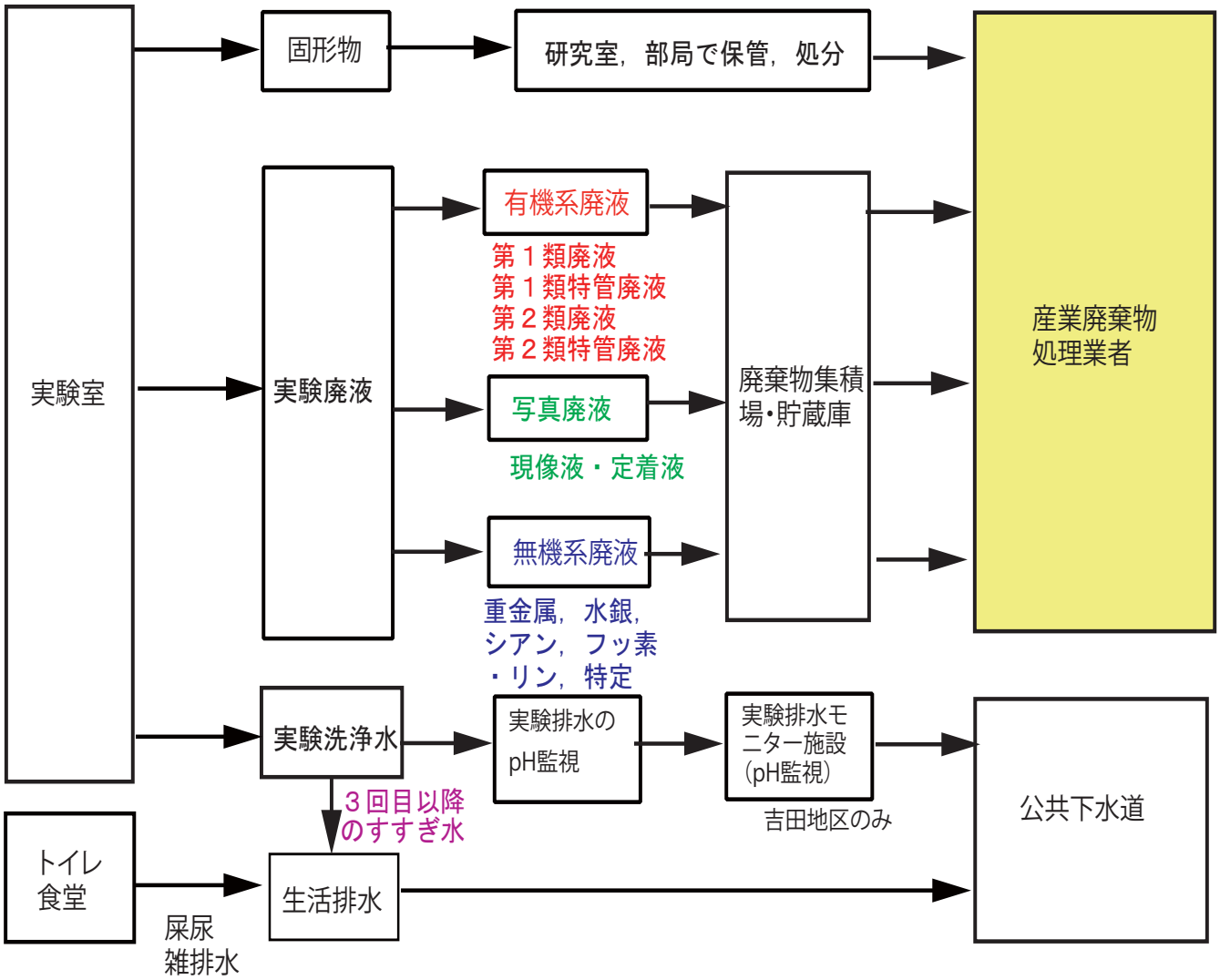
排水処理施設の経緯

昭和４６年９月	環境等汚染防止対策委員会　発足
昭和５０年３月	各地区廃液物集積場設置
昭和５１年３月	特殊廃水処理施設完成（中和凝集沈殿法），処理開始
昭和５３年３月	生活排水処理施設，実験排水モニター施設完成
昭和５８年３月８日	排水処理センター発足
	初代センター長　林　謙次郎　先生就任
昭和６０年１２月	「山口大学環境保全 No.1」　発刊
平成　元年３月８日	２代センター長　　徳力　幹彦　先生　就任
平成　７年４月	無機系廃液処理施設更新（フェライト法）
	及び実験排水モニター施設更新
平成　８年６月	吉田地区生活排水公共下水道へ接続
平成　９年３月８日	３代センター長　　佐々木義明　先生就任
平成１３年３月８日	４代センター長　　田頭　昭二　先生就任
平成１６年４月１日	総合科学実験センター排水処理センターに改組
平成１７年４月１日	５代センター長　　右田　たい子　先生就任
平成２１年４月１日	６代センター長　　石黒　勝也　先生就任
平成２３年４月１日	７代センター長　　小崎　紳一　先生就任
平成２４年４月１日	大学研究推進機構 総合科学実験センター排水処理施設に改組
平成２６年４月１日	８代センター長　　石黒　勝也　先生就任

廃液の管理体制



廃液・排水フロー

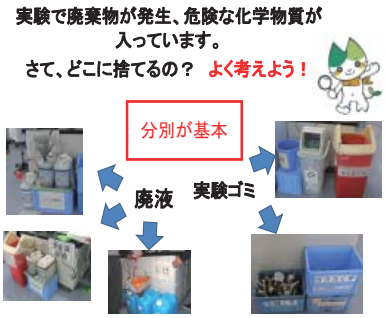

実験室
固形物
研究室，部局で保管，処分
実験廃液
有機系廃液
第１類廃液
第１類特管廃液
第２類廃液
第２類特管廃液
写真廃液
現像液・定着液
無機系廃液
重金属，水銀，
シアン，フッ素
・リン，特定
廃棄物集積
場・貯蔵庫
産業廃棄物
処理業者
実験洗浄水
３回目以降
のすすぎ水
実験排水の
pH監視
実験排水モ
ニター施設
（pH監視）
吉田地区のみ
公共下水道
トイレ
食堂
尿尿
雑排水
生活排水

環境及び安全教育

環境教育と安全教育は大学に取って大切な内容です。排水処理施設は、安全衛生対策室と連携して学生実験のガイダンの際には、薬品の取扱の注意、後始末と環境汚染の原因、環境に関する法律について説明しています。また安全に化学物質の取扱についての講習会を行っています。

小串毒劇物講習会

共通化学実験と pH 監視



共通化学実験の廃棄物の取扱

見学会

排水処理施設では希望者に処理施設の見学会、廃液処理の説明を随時行っています.
文系，理系を問わず排水処理の説明をしますので気軽にご相談ください。

廃液の回収及び廃液処理

学生実験、研究実験から排出される廃液について内容物のチェックの後に引取・処理をしています。

学内の排水のpHのチェックを24時間連続で行っています。

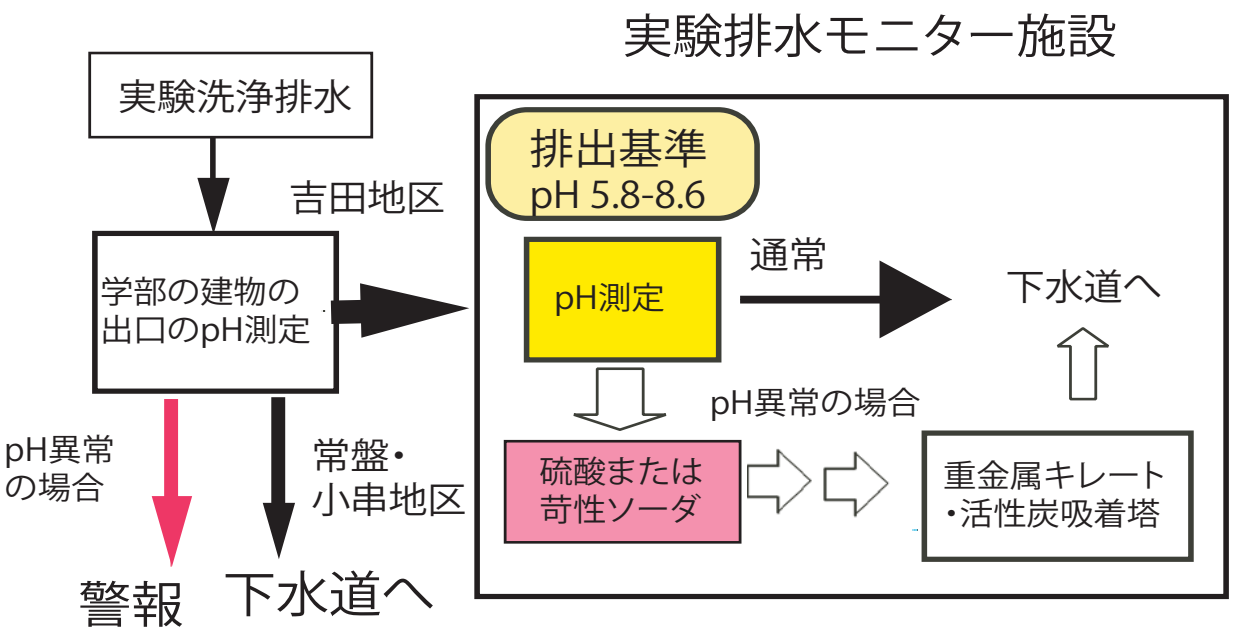
下水道排水は、定期的に分析をし、排出基準を超えていないかチェックを行っています。

廃液回収と廃液のチェック

無機系廃液処理と作業環境測定

学内排水の水質検査サンプリング

実験排水モニターシステム

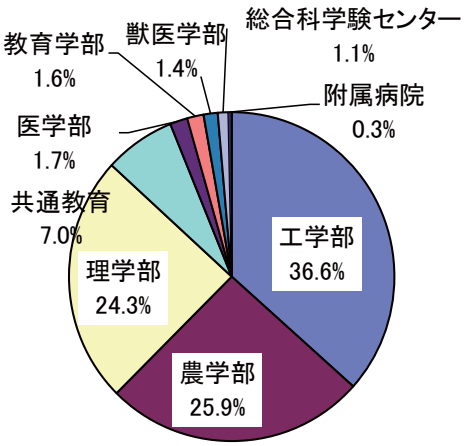


排 出 基 準 値

	項　　目	基準値		項　　目	基準値
1	温度	40℃未満	21	ジクロロメタン	0.2 mg／l
2	水素イオン濃度	5～9	22	四塩化炭素	0.02 mg／l
3	生物化学的酸素要求量	600 mg／l	23	1,2−ジクロロエタン	0.04 mg／l
4	浮遊物質量	600 mg／l	24	1,1−ジクロロエタン	0.2 mg／l
5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 鉱油類含有量	5 mg／l	25	シス−1,2−ジクロロエチレン	0.4 mg／l
6	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 動植物油脂類含有量	30 mg／l	26	1,1,1−トリクロロエタン	3 mg／l
7	窒素含有量	240 mg／l	27	1,1,2−トリクロロエタン	0.06 mg／l
8	隣含有量	32 mg／l	28	1,3−ジクロロプロペン	0.02 mg／l
9	よう素含有量	220 mg／l	29	チウラム	0.06 mg／l
10	カドミウム及びその化合物	0.1 mg／l	30	シマジン	0.03 mg／l
11	シアン化合物	1 mg／l	31	チオベンカルブ	0.2 mg／l
12	有機燐化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びEPNに限る）	1 mg／l	32	ベンゼン	0.1 mg／l
13	鉛及びその化合物	0.1 mg／l	33	セレン及びその化合物	0.1 mg／l
14	六価クロム化合物	0.5 mg／l	34	フェノール類含有量	5 mg／l
15	ひ素及びその化合物	0.1 mg／l	35	銅含有量	3 mg／l
16	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005 mg／l	36	亜鉛含有量	2 mg／l
17	アルキル水銀化合物	検出されないこと	37	溶解性鉄含有量	10 mg／l
18	ポリ塩化ビフェニル	0.003 mg／l	38	溶解性マンガン含有量	10 mg／l
19	トリクロロエチレン	0.3 mg／l	39	クロム含有量	2 mg／l
20	テトラクロロエチレン	0.1 mg／l	40	ふっ素及びその化合物	15 mg／l

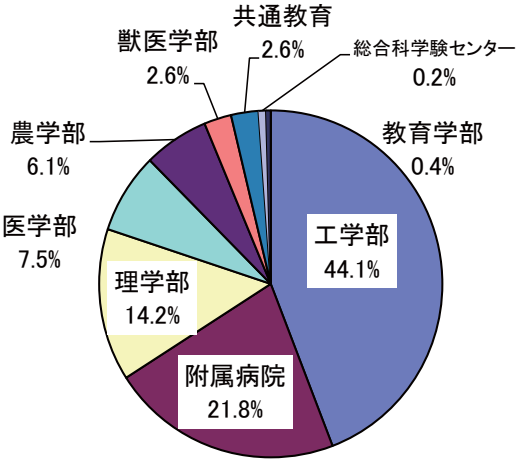
排水処理施設廃液回収状況

2016 年度結果



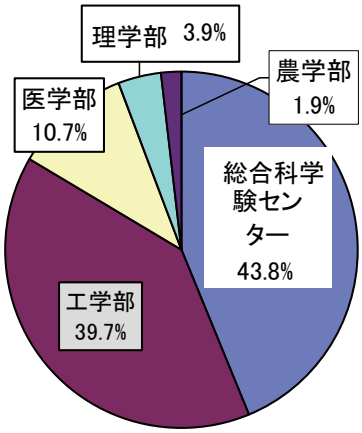
無機系廃液回収量

5,683 リットル



有機系廃液回収量

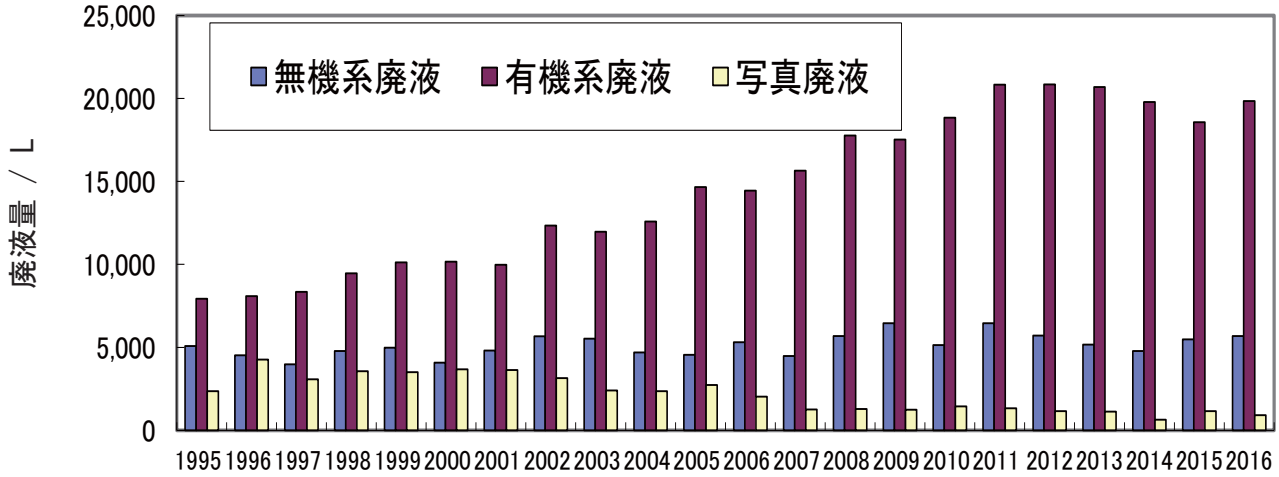
19,841リットル



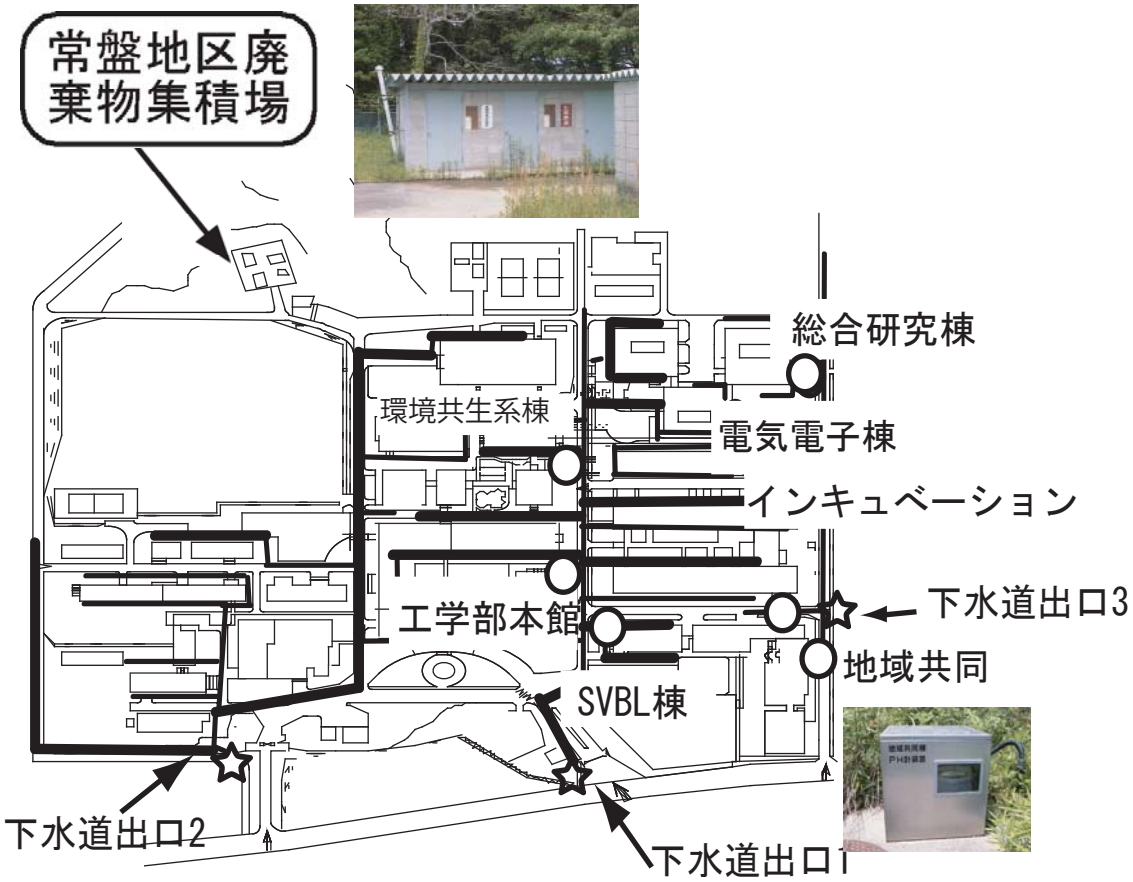
写真廃液回収量

914 kg

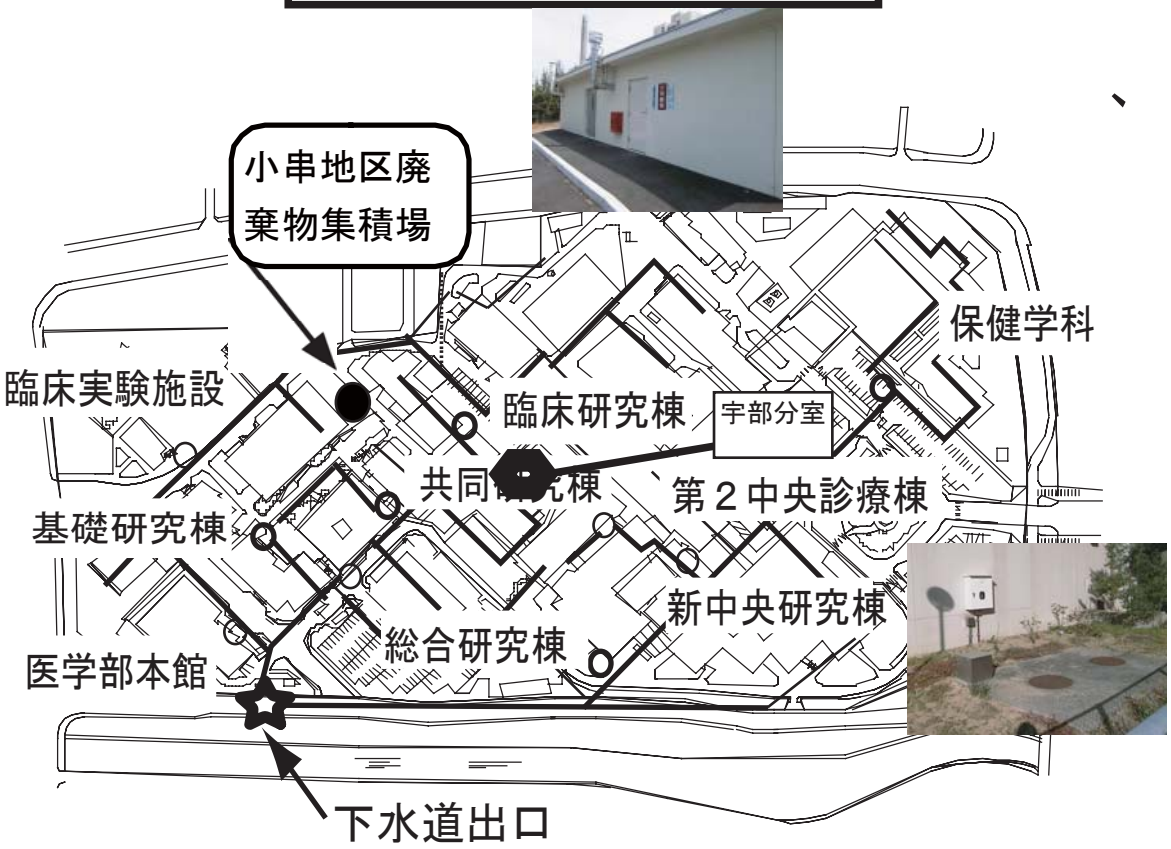
廃液回収量年度別集計表



年度別廃液量



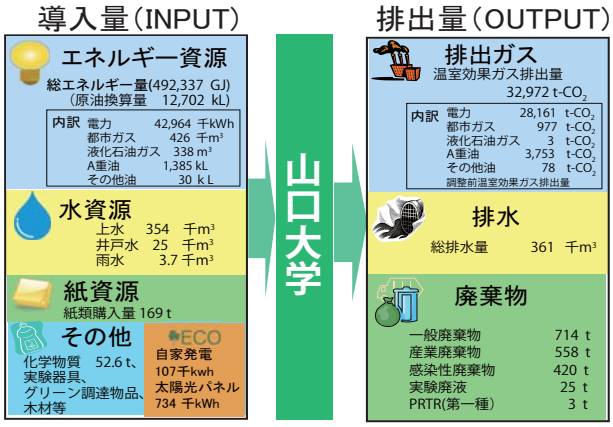
常盤キャンパス



小串キャンパス

広報活動

排水処理施設では、毎年広報誌を発行しています。
　山口大学環境保全　No.1 - 32（2017年4月現在）
施設職員は環境報告書の編集に協力しています。
　環境報告書には、排水処理施設の一部資料が掲載されています。



環境報告書 2016 とマテリアルバランス

環境保全第 32 号　表紙

山口大学大学研究推進機構
総合科学実験センター排水処理施設

〒 753-8511 山口市吉田 1677-1
　Tel　083-933-5137（内線のみ 6137）　Fax 083-933-5138
宇部分室（主に宇部地区に対応）
　〒 755-8505　山口県宇部市南小串 1-1-1　TEL 0836-85-3064（内線：3064）
　E-mail：haisui@yamaguchi-u.ac.jp

分野長	石黒	勝也（5727）
施設長	藤原	勇（5137）
技術職員	山野	聖子（3064、6137）